

幼稚園出身兒の成績に

關する調査に就て

和 田 實

幼稚園出身兒の小學校に於ける成績如何と云ふとは、從來多大の興味を以て尋ねられたる所であるが、元來、精密にして多數なる統計を要する爲に、何處でも充分の結果を收むることが出來ないで、徒に反對者の批難の臆説や辯護者の駁論があるに過ぎぬ。之は我幼稚園教育上極めて重大なる研究問題で吾人は一日も早く此問題を解決して見たいと思ふて居るのであるが、奈何、現在の幼稚園教育法、否從來の幼稚園教育法其物が非常に缺點を以て居たのであるから、之を吾人の眼から見ると從來然のみの成績を擧げて居らぬのは、因より當然の様に見えて之が成績を調査するもの何だか詰らぬ様な感がする。併し、從來の方法とても保姆其人の枝量に因つては各地に於て相當の成績を擧げて居る様である。例へば東京女子高等師範學校附屬小

學校に於て過去十年間の附屬幼稚園經過兒と直接入學者との成績を比較したるものを見るに、唱歌に關しては、十ヶ年中唯二ヶ年のみ直接入學者に劣れるのみにして他は凡て優勝の成績を表して居る。然るに此直接入學者と云ふものの過半は大概市内の他幼稚園の出身兒である所を以て見れば附屬幼稚園兒童の唱歌に關する成績は非常に好成績と云はざるを得ぬ。是は從來の保育法中唱歌が最も理想的に合理的に教授されて居つた爲めと一つは附屬幼稚園の保姆が何れも女子高等師範の出身で音樂に堪能の人多く、従つて、他保育科目に比較しては均衡を失する程に唱歌の技能を進めたと思ふ。云ふ二つの理由に基づくのであらうと思ふ。兎に角、之に因りて見ても幼稚園教育の成績は保姆の技量と保育法の如何とに因つて相當に擧げ得らるものであると云ふことは判るであらうと思ふ。地方などには時々非常な熱心家があつて普通、パンの爲めや事情のためや又は虚榮の爲めに行つて居るのではなく、實際一種の信念に驅られて熱心に行つて居られる所では、矢張相當に其成績を上げて居る様

である。嘗て本誌にも濱松幼稚園の成績に就いて掲載したことがあつたが該報告の示す所は明に同幼稚園出身兒の成績の良好なるを示して居るとは當時の記事を読まれた方の記憶せらるゝ所であらうと思ふ。殊に最近に神戸なる長狹尋常小學校に於て調査したる報告書は實に立派な成績を示して居る。参考の爲めに其全文を左に掲げて見やう。

* 幼稚園卒業兒は小學校では其成績
* 幼稚園卒業兒は小學校では其成績
* 幼稚園卒業兒は小學校では其成績
* 幼稚園卒業兒は小學校では其成績

に良好である

幼稚園の卒業兒が小學校に於ける成績は如何であるかといふことに就いて世間に種々の臆説があるが今長狹尋常小學校に於て六百七十三人の兒童中百六十二人の幼稚園卒業兒童に就き算術唱歌國語手工の四學科の成績を比較調査せしに何れの學科に於ても幼稚園卒業兒童の成績良好なるを知ることを得ました美術唱歌國語手工の四科目を選みたるは思考學科と技術學科とを比較調査せん爲めである其詳細は左表に由て明瞭である但し十點を全

點として調査す。

二四

	美術	唱歌	國語	手工
幼稚園生	八〇〇	八三四	八三四	八二六
普通生	七五五	七八二	七八四	七五四
差	四四	五二	五〇	四三

尚又幼稚園の卒業兒は小學校へ入學の當初は其成績優良なるを學年の進むに従ひ漸次普通生に劣るといふ臆説もあるが是亦事實間違であるといふことを證明することを得ました本校の調査では各學年各學年とも幼稚園卒業兒童の成績良好なるを示して居ることは左表で明白である。

算術	唱歌	國語	手工
幼稚園生	幼稚園生	幼稚園生	幼稚園生
普通生	普通生	普通生	普通生
八二六	九〇六	八二六	七五五
八二〇	八九六	八二〇	八〇三
七八六	八四六	七八六	七六四
八四二	八三六	八四二	七九〇
六九四	八二六	六九四	七八四

二學年	三學年	三學年	四學年	五學年
-----	-----	-----	-----	-----

一朝何れかの組に底能兒又は天才的優秀兒があつ

中等、人、人

劣等

、人

、人

五、

斯くして表はれたる数字の優等の側に近く
多數を有する方が勝となるものである。

無論、此調査法とても少數ではいけぬ。子供の數

はなる可く多い方がよいのである。が唯、天才や

底能兒が少し位あつても夫等の居るが爲めに成績

の結果を沒了される恐はないから、此方法に因れ

る調査が尤も信を置けると思ふ。吾人は目下此方

法で調査中である。其結果は何れ又發表するであ

らうが地方に於ても續々此方法に因れる調査の御

報告あらんことを切に希望する次第である。

前號には藤田東洋氏の熱心なる所論が出て居る。

是に就いて今吾人の感想を述べで見やう。尤も幼

稚園出身兒の長所に就いては別段述べる必要はな

いから其短所とせられた點だけに就いて述べて見

やう。

一、教師に狎れ過ぎて尊師の風が更にないと云ふ

とは小學校の先生より屢々耳にするものであるが

吾人の知れる範圍内では期様の事實を見出すのに

頗る困難を感じる。惟ふに之は幼稚園其ものゝ罪

二六

ではなくて保姆其人の人格に關するものであら

う。吾人の知れる範圍内では教師を尊敬すること

却つて小學校の兒童よりも勝つて居る様に思ふ。

是は多分地方に於て如何はしい學力も技量も將た

人格上にも缺點のある間に合せの子守見た様なの

を保姆として雇ふた結果、子供を教育するどころ

ではなく、却つて之に逐ひ使はれる様なことをし

て居つたところの幼稚園から出て來たものに就い

て云つたのだらうと思ふ。東京市内にも聞く所に

因れば此種の幼稚園が少くないやうであるから、

……若し又そうでないとするれば或は教師の觀察眼

が疑はれねばならぬ。吾人は斷じて幼稚園が特に

此種の弊を生ず可きものではないと思ふ。若し、

生ずとせば其は小學校に於けると同様な理由に基

く、即ち保姆其人を選べば此弊は當然なくなるも

のであると云ふことは斷じて疑はない。

後段教師の教授する事項を能く聞き以て學習する

ものが少く、凡て早合點して氣儘に教授に注意を

拂はず、浮薄にして一般兒童の防害を爲すと云ふ

こと、之も幼稚園其物の罪ではない。是には二つ

の原因がある。一つは保母其人を得ないで始終無駄言を聞かせたと云ふこと、一つは小學校の教師の教授が彼等の發達程度を出發點とせず、徒に獨斷なる教案に因り興味なき事項を強ひんとすること、是である。

二、規律を遵守せずと云ふこと。

成程、幼稚園出身兒は規律を遵守しない。是は事實である。併し、是と反對に家庭より直接來れるものは、果して規律を遵守して居るであらうか、余は斷言する。是は亦事實でない。家庭から來た子供とて決して規律を遵守しては居らぬ。唯、之を見る觀察者は一方は自由勝手に動き回れるから、此奴、不屈者であるにとらむに反し、一方は何うしてよいが判らぬのと始めて斯る場所へ出たので、氣後れして幾分か遠慮の氣味で唯々諾々として居るのとの差であると思ふ。之を以て家庭より直接來たるものは規律を遵守するとは云へぬ。是れから教育を初め様と云ふものが入學の日より規律を遵守することが出来るものならば訓練は何も六ヶ敷いものではない。單に、おとなしい

のを見て訓練が既に幾分上達して居るなど、考へるのは、所謂お人よしを見て大聖人と考へる様なものでこんな馬鹿らしいことはない。幼稚園經過兒の暴ばれるのは規律を破らんが爲めに暴ばれるのではなくて、幼稚園に於ける自發活動獎勵の結果であつて保育當時の效果である。之をしも保育の弊害と云ふならば教育學上に於ける今代の筋肉運動主義其ものからして覆して掛らねばならぬ。尋常一年の教育をして木偶の棒にも出来る様に容易きものにする事が果してよいならば幼稚園教育は寧ろ有害であるが、眞の教授、眞の訓練が筋肉運動主義に因るに非ざれば達し難いとせらるゝ今日は到底、幼稚園教育を度外に置く譯には行かぬものである。其結果は尋常一年の授業をして益困難ならしむるは誠に止むを得ぬことである。勿論、幼稚園出身兒と雖も暴れるのがよいのではない。是は漸次適當に教育す可きであるが幼稚園出身兒が直接家庭より來れるものに比して無遠慮にして臆する處なきは當然のことである。従つて、之が尋常一年となつた時は其取扱上に

於ける困難の度が從來のに比して多いのは詮方なき次第である。

三、一學年に於ける躰方に苦心を要す、二、尤もの次第である。從來の自發活動の獎勵はあらゆる方面に結果したかも知れぬ。是は今後の保育者の大に注意を要する所である。が幼稚園の教育法が如何に進歩したからとて小學校の教育法を、從來よりも容易ならしむることは出来ぬ、是は標題の如く一大苦心を要するものである。併し一大苦心を要するからとて是が幼稚保育の弊害と見るは不當である。

四、生半熟は惡し寧ろなきに如かずと云ふと、是は聞えぬ話である。幼稚園教育がないからとて幼児教育がないと云へやうか、家庭から直接來たものでも相當に幼児教育を受けて來たのである。小學校が如何に教育獨占主義を振り回はしても生れたての子供に直に小學校教育の出來様筈がない必らずや幼児教育の基礎の上に行はざる可からざるものである。唯、議論は幼稚園と家庭とは果して何れが比較的完全なる幼児教育をなし得るかと云ふ

に歸する。從つて生半熟であると云ふことは其家庭より直接來れると幼稚園を経過して來れるに於て差違ある可き筈がない。唯異なる所は其程度の差である。併し、是は教育の段階の凡てに共通したものであるから獨り幼稚園のみ責むるの無理であらう。試みに見玉へ、小學校の教育の何れの方面に對しても半熟のことを進んで高等女學校が凡ての方面に於て著るしく生半熟のことを、況んや敎授と云ふことを主とせざる幼稚園が生半熟であるのは寧ろ當然の結果である。然るに之を以て寧ろなきに如かずと云ふのは心なき中學校の先生が小學校の教育を輕視し蔑視すると同じで片腹

五、生活の變動と云ふこと。

若し斯様なことを現在に於ける幼稚園の實況とすれば世人が幼稚園を攻撃するの無理はなし又幼稚園の保姆が子守と同視されて小學校の先生にも輕蔑されて居るのも無理はないと思ふ併し是は幼稚園夫れ自身の罪ではなくて保姆の惡きが爲である。保姆の改良が出來れば自然なくなる者である。

六、物知り顔して教師に答へず隣生に話すと云ふこと。

生半熟になる様にしたことは物知り顔をさせることとなるから是非否定出来ぬことではあるが是が爲めに教師に答へず隣生に話すと云ふことは悪い意味に取つてはならぬ。此處が無邪氣で謹みない所である。是は教師の力に因つて適當に導き適當に謹ませねばならぬ。併し、幼稚園では此邊まで踏み込んで躡ける譯には行かぬ。幼稚園は幼稚園の領分がある、是以上は何も他の領分内に迄も踏み込んで餘計な世話を焼くに當らぬ、又小學校にしても、何も幼稚園に己れの領分迄も耕して貰ふ必要はない、是も幼稚園の缺點と云ふ譯には行かぬ。

七、普通の兒童よりも亂暴なりと云ふこと。
横行と云ふ字と濶歩と云ふ字は熟字である丈に、濶歩の癖あるものが往往にして横行する様になるのは止むを得ぬ。幼稚園は主として幼兒をおめす臆せず濶歩せしめ様として居る。従つて稍もすれば横行するものゝあるのは止むを得ぬ、併し、幼

稚園に在るや決して横行するものがない。而して小學校に行くに及んで横行するものありと云ふ。蓋し、小學校の先生が從來の教育を無視して兒童の各個性に適切なる教育を施さず。漫然放任するが故に斯の如き結果となるので、云はゞ小學校の缺點で幼稚園の缺點ではない。
八、普通の兒童よりは善く喋舌ると云ふこと。
多辯にして靜肅を欠くと云ふことは程度の問題であつて必ずしも悪いものはでない。今の幼稚園出身兒が教育上有害なる程多辯にして喧噪なりやは實際を見ねば判らぬものであるが、余の知れる所や附屬幼稚園の成績では未だ何等の弊害をも認め居らぬ。

九、教科の重複より倦怠すること。
是は少し無理である。對手が幼兒のことであるから徒に重複せるものに倦を來すのは當然である。教育者は倦きを來さぬ様宜し材料を變化して教へて貰ひたい。世界は廣い、學ぶ可き材料は無盡藏である。此寶庫から教授材料を採る。宜しく幼兒の既知のものを出發點として選擇す可きであ

る。何を苦んで平凡なものを倦きるものもかまは
ず重複せしむる必要があらうか、是は小學校の教
授細目を批難せざるを得ない。是は一郡一市一町
村に於て拘子定規に一定したものを基礎教育の如
何に關らず無理押し付けしやうとする結果で、決
して之を以て幼稚園の欠點と見ることは出来ぬ。
十、教科に於ける成績。
是は目下調査中であるから判り次第發表するとし
やう。

以下藤田氏は幼稚園改良策につきて屢々述べられ
たが尤もなことで別段異見もないから是で筆を措
くとしやう。

美貌に就きて

醫學士 S U 生

什麼したら美しくなれるか、什麼したら、何時迄
も美しうて居るであらうかと云ふことは、婦人と
しては最も懸念すべきことでありまして、其れは

當然の義務であらうと思ひます。云はゞ美は婦人
の最も良き紹介狀でありまして、美の得點は第一、
一見して他人の同情を得易い。又適當なる美容法
は、衛生にも適へるものであります。正しき化粧
法は、凡て化粧品とか、又は物理的美貌法には
依りませぬ、斯の如き美貌法は、徒に其の効力を
稱用して發明者の囊中を充たすのみで、之れを用
ゆるものは、一の犠牲とも云ふべきものであつて、
却て少なからざる害を被るのであります。正しき
化粧法は大抵は單純の簡單な方法で至れり盡せり
であります。

凡ての化粧法で、清潔と云ふことが、常に其の主
腦をなして居ります。其清潔も併し、正當であつ
ても目的に適つて居なければならぬのでありま
す。

人間の身體中で、美に關して最も眼に付く部分は、
顔であります。夫れ故第一に美顔のたしなみが、
一番必要でありまして、例へば、窈窕花の如き顔
に接すると、人をして一種の快感を懷かしめるの
は、其れが人情であります。茲に於て先づ起るべ